

OSS License Checked!

Orchestrating a brighter world **NEC**

開催地：「4」 株式会社
**Open Developers
 Conference 2017 Tokyo**

作ってからでは後の祭り。
 OSSライセンスについても設計しよう

2017年8月19日
 NEC OSS推進センター・姉崎智博

[illegible][illegible]

ア〜エで正しいと思うものをここに問題です
挙手をお願いします。

答えは最後の方です

Q. GPLのOSSとApache License 2.0のOSSを改造して
結合したプログラムを開発した場合、
無料でソースコードを公開しても
パッケージソフトとして販売できない。その理由はどれか。

A. GPLはいかなる条件でも販売を禁止しているため
イ. 何しても著作権侵害になるため
ウ. ソース開示必須のOSSと必須ではないOSSとでは
思想的に矛盾するため
エ. GPLがApacheとの結合を禁止しているため

OSSとは	
I (おおまかに言えば) ソースコードが入手でき、ソースコードの改変と手を加えたソースコードの再頒布が認められているソフトウェア	
OSS : Open Source Software OSS≠必ずしも団体OSIが、1998年に定めたオープンソースの定義(OSD: http://osd.fsf.org/)	
再頒布を自由	6 利用する分野に対する差別の禁止
ソースコード	7 ライセンスの明示(license)
派生ソフトウェア	8 特定製品との有償なライセンスの禁止
作者のソースコードの完全性(compat)	他のソフトウェアを利用するライセンスの禁止
個人やグループに対する差別の禁止	9 ライセンスは技術的中立でなければならぬ

OSSのメリット


- ▶ 無償で入手できるものも多かった。初期導入コストの抑制が可能
- ▶ 自分で充分試してから本格導入できる。リスクも低減
- ▶ ただし、すべてが優れているわけではない。利点もある可能性大
- ▶ 入手可能なソースコードを解析し、自分のものにすれば費用対効果が大い
- ▶ **QSSの本質は、理解した者にメリットがある** (※)
- ▶ 最近では、業界標準化のツールとしての位置づけが大きい
- ▶ 使わざるを得ない状況

2017年 自動車業界 2020年 通信業界
AUTOTIVE CARRIER
OSSE LINUX

※ 参考資料: 日本経済新聞「OSSの活用が加速する理由」

OSSのライセンスの例	
IoT: 繋がるデバイスには、TCP/IPの実装が必要	
● 本家・BSD	FreeBSD Copyright © 1989 by the Regents of the University of California
● GNU/Linux	GNU GPLv2
● クラウド OpenStack	Apache License 2.0
● SDN OpenDaylight	Eclipse Public License (EPL)
● ビッグデータ Hadoop	Apache License 2.0
● 運用管理 Hinerinos, Zabbix	GNU GPLv2
● データベース	
● PostgreSQL	PostgreSQL License BSDライセンス
● MySQL	GNU GPLv2
● 基盤ソフトウェア	GNU GPLv3, GPLv2, Apache2.0, 他

[illegible]



LinuxのGNU GPLv2をはじめ、他の論文は長い・それでもGPLv2の権利

■ なかなか読めない・ほしいとい
 いても、正式には論文は英文
 でも、コミュニティのサイトや
 OSDNサイトに日本語参考訳があります。

<https://fsfe.org/projects/licenses/wiki/licenses>

GPLv2と「フリーソフトウェア」日本語参考訳

2017年12月現在、GPLv2の日本語訳は、GPLv2の日本語訳を公開している人によって作成されたもので、GPLv2の日本語訳の著作権は、その人によって保持されています。GPLv2の日本語訳の著作権は、その人によって保持されています。GPLv2の日本語訳の著作権は、その人によって保持されています。

OSSライセンスには、どんな条件が書かれているか

各ライセンスで表現は様々ですが…

- 著作権表示、条文本体、免責事項
- バイナリソースコードを

BSDライセンスなど

GPLなど

(または、その申し出を) 添付すること、など

さて、これらは、義務ではなく、条件ですが、何の条件か？

[illegible]

OSSライセンスの位置づけ

● OSSライセンスは、OSSの受取者が再配布など著作権の行使の許諾

Webで公開

アップロード

著作権行使しないなら、
ライセンス条件は関係ない

著作権行使するのなら、
ライセンス条件を満たす必要あり

GPLなどのOSSライセンスを満たせば、
商業利用は可能

「～というOSSをばり開発して、ソース開示は大丈夫か？」とか「～というソフトにたまたまソース開示しててよいのか？」という問いは、著作権行使するかどうかを明らかにしなければなりません

[illegible][illegible]

OSSライセンスとソフトウェアライセンスの違い(Var)

3. 主な相違点の対比(対照)

- ・ ソフトウェアライセンスは**プログラムの複製を無条件に許可する**ものと**複製禁止**のものがあります。複製禁止のソフトウェアライセンスを遵守することで権利を行使できます。
- ・ 商用のソフトウェアライセンスを遵守することも可能です。

一方、著作権に準拠しているOSライセンスは、複製が許容される**最小限のプログラム**の著作権者・権利者に一定の割合の著作権が渡ります。その場合、それ以外のOSライセンスの範囲・通り、条件を遵守する必要があるようです。

4. 参考資料

(株) Copyright 2017

Copyright © 2017 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft, the Microsoft Dynamics logo, and the Microsoft Dynamics ribbon are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

[illegible]

2009年1月24日 SFLIC:Best Buyと14社がGPL違反で提訴された件 2009:Software Freedom Law Center	
1. BestBuy's Blu-ray Disc Player	ブルーレイプレイヤー
2. Samsung's LED HD TV's	
3. Westinghouse's LED HD TV's	HDテレビ
4. JVC's LCD HD TV's and IP Motion Camera	
5. Western Digital's WD TV HD Media Player	デジタルメディアプレーヤー
6. Bosch's System TV System DVR	
7. Phoebe Mike's wireless routers and IP Motion Wireless Camera	無線カメラ
8. Humax's HD DVD DVR	
9. Contender's bonded modems	
10. Dabbas-Stanford's digital media player	
11. VeriTech's weatherproof dual radio outdoor wireless access point	
12. ZyXEL's 4 Port Router	ルーター
13. Askey's security camera system with DVR and security system DVR device	
14. GIGACOM's digital media player	

このようなリスク(?)に対して、何をしなければならぬか？

OSSは一般に他人の著作物

であることを理解し、
そのように扱うこと

なぜか？ 著作権も「ものへの支配権」の一つだから

■著作権法入門、有斐閣、2009、P8

●品見堂（神戸大学教員）、上野 達也（立教大学教員）、横山 久夫（早稲田大学教員）著

```

graph LR
    A[ものへの支配権] --> B[有体物]
    A --> C[無体物]
    B --> D[所有権]
    C --> E[権利]
    D --> F[物理権]
    E --> G[創作]
    E --> H[伝達対象]
    E --> I[伝達手段]
    G --> J[知的権]
    I --> K[著作権]
    K --> L[法的権]
  
```

著作権法入門

品見堂

2016年10月 第2版 第2刷

[illegible]

実は、著作権を理解しなければ、OSSライセンスは理解できない

GNU GPLなど、OSSライセンスは難しい

難しいと思えるのはOSSライセンスではなく、著作権。
著作権も多くの人が馴染みがないだけ。

著作権 ①②

■ **日本国 著作権法** <http://www.gpo.go.jp/freetext/toc/S4C54C04C04C067.html>

(複製権)
第三款 著作権に含まれる権利の種類

第二十一条 **著作者は、その著作物を複製する権利を専有する。**
.....

(翻訳権、翻案権等)
第二十七条 **著作者は、その著作物を翻訳し、編纂し、若しくは変形し、又は脚色し、映画化し、その他細かなる権利を専有する。**

著作権 (5)

アメリカ 著作権法 和訳 (<http://www.copyright.com/world/copyright.html>)

第106条 著作権のある著作物に対する排他的権利

第107条ないし第122条を条件として、本編に基づき著作権を保有する者は、以下に掲げる行為を行なったことを許す**排他的権利を有する**。

(1) 著作物のある著作物をコピーまたはコピーに類すること。

(2) 著作権のある著作物に基づいて二次的著作物を作成すること。

(3) 以上同様

表現は違っても、同じようなことを言っている

© 著作権を有している人だけが許諾(ライセンス)可能

GPLでライセンスされたOSSを基、改変した著作物にも GPLを適用しなければならぬ。

GNU GPLのOSSは、GPLに搭載された条件で複製・改変が許諾(ライセンス)されています。

Copyright © 2009, 2010, 2011, 2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025, 2026, 2027, 2028, 2029, 2030, 2031, 2032, 2033, 2034, 2035, 2036, 2037, 2038, 2039, 2040, 2041, 2042, 2043, 2044, 2045, 2046, 2047, 2048, 2049, 2050, 2051, 2052, 2053, 2054, 2055, 2056, 2057, 2058, 2059, 2060, 2061, 2062, 2063, 2064, 2065, 2066, 2067, 2068, 2069, 2070, 2071, 2072, 2073, 2074, 2075, 2076, 2077, 2078, 2079, 2080, 2081, 2082, 2083, 2084, 2085, 2086, 2087, 2088, 2089, 2090, 2091, 2092, 2093, 2094, 2095, 2096, 2097, 2098, 2099, 2100, 2101, 2102, 2103, 2104, 2105, 2106, 2107, 2108, 2109, 2110, 2111, 2112, 2113, 2114, 2115, 2116, 2117, 2118, 2119, 2120, 2121, 2122, 2123, 2124, 2125, 2126, 2127, 2128, 2129, 2130, 2131, 2132, 2133, 2134, 2135, 2136, 2137, 2138, 2139, 2140, 2141, 2142, 2143, 2144, 2145, 2146, 2147, 2148, 2149, 2150, 2151, 2152, 2153, 2154, 2155, 2156, 2157, 2158, 2159, 2160, 2161, 2162, 2163, 2164, 2165, 2166, 2167, 2168, 2169, 2170, 2171, 2172, 2173, 2174, 2175, 2176, 2177, 2178, 2179, 2180, 2181, 2182, 2183, 2184, 2185, 2186, 2187, 2188, 2189, 2190, 2191, 2192, 2193, 2194, 2195, 2196, 2197, 2198, 2199, 2200, 2201, 2202, 2203, 2204, 2205, 2206, 2207, 2208, 2209, 2210, 2211, 2212, 2213, 2214, 2215, 2216, 2217, 2218, 2219, 2220, 2221, 2222, 2223, 2224, 2225, 2226, 2227, 2228, 2229, 2230, 2231, 2232, 2233, 2234, 2235, 2236, 2237, 2238, 2239, 2240, 2241, 2242, 2243, 2244, 2245, 2246, 2247, 2248, 2249, 2250, 2251, 2252, 2253, 2254, 2255, 2256, 2257, 2258, 2259, 2260, 2261, 2262, 2263, 2264, 2265, 2266, 2267, 2268, 2269, 2270, 2271, 2272, 2273, 2274, 2275, 2276, 2277, 2278, 2279, 2280, 2281, 2282, 2283, 2284, 2285, 2286, 2287, 2288, 2289, 2290, 2291, 2292, 2293, 2294, 2295, 2296, 2297, 2298, 2299, 2300, 2301, 2302, 2303, 2304, 2305, 2306, 2307, 2308, 2309, 2310, 2311, 2312, 2313, 2314, 2315, 2316, 2317, 2318, 2319, 2320, 2321, 2322, 2323, 2324, 2325, 2326, 2327, 2328, 2329, 2330, 2331, 2332, 2333, 2334, 2335, 2336, 2337, 2338, 2339, 2340, 2341, 2342, 2343, 2344, 2345, 2346, 2347, 2348, 2349, 2350, 2351, 2352, 2353, 2354, 2355, 2356, 2357, 2358, 2359, 2360, 2361, 2362, 2363, 2364, 2365, 2366, 2367, 2368, 2369, 2370, 2371, 2372, 2373, 2374, 2375, 2376, 2377, 2378, 2379, 2380, 2381, 2382, 2383, 2384, 2385, 2386, 2387, 2388, 2389, 2390, 2391, 2392, 2393, 2394, 2395, 2396, 2397, 2398, 2399, 2400, 2401, 2402, 2403, 2404, 2405, 2406, 2407, 2408, 2409, 2410, 2411, 2412, 2413, 2414, 2415, 2416, 2417, 2418, 2419, 2420, 2421, 2422, 2423, 2424, 2425, 2426, 2427, 2428, 2429, 2430, 2431, 2432, 2433, 2434, 2435, 2436, 2437, 2438, 2439, 2440, 2441, 2442, 2443, 2444, 2445, 2446, 2447, 2448, 2449, 2450, 2451, 2452, 2453, 2454, 2455, 2456, 2457, 2458, 2459, 2460, 2461, 2462, 2463, 2464, 2465, 2466, 2467, 2468, 2469, 2470, 2471, 2472, 2473, 2474, 2475, 2476, 2477, 2478, 2479, 2480, 2481, 2482, 2483, 2484, 2485, 2486, 2487, 2488, 2489, 2490, 2491, 2492, 2493, 2494, 2495, 2496, 2497, 2498, 2499, 2500, 2501, 2502, 2503, 2504, 2505, 2506, 2507, 2508, 2509, 2510, 2511, 2512, 2513, 2514, 2515, 2516, 2517, 2518, 2519, 2520, 2521, 2522, 2523, 2524, 2525, 2526, 2527, 2528, 2529, 2530, 2531, 2532, 2533, 2534, 2535, 2536, 2537, 2538, 2539, 2540, 2541, 2542, 2543, 2544, 2545, 2546, 2547, 2548, 2549, 2550, 2551, 2552, 2553, 2554, 2555, 2556, 2557, 2558, 2559, 2560, 2561, 2562, 2563, 2564, 2565, 2566, 2567, 2568, 2569, 2570, 2571, 2572, 2573, 2574, 2575, 2576, 2577, 2578, 2579, 2580, 2581, 2582, 2583, 2584, 2585, 2586, 2587, 2588, 2589, 2590, 2591, 2592, 2593, 2594, 2595, 2596, 2597, 2598, 2599, 2600, 2601, 2602, 2603, 2604, 2605, 2606, 2607, 2608, 2609, 2610, 2611, 2612, 2613, 2614, 2615, 2616, 2617, 2618, 2619, 2620, 2621, 2622, 2623, 2624, 2625, 2626, 2627, 2628, 2629, 2630, 2631, 2632, 2633, 2634, 2635, 2636, 2637, 2638, 2639, 2640, 2641, 2642, 2643, 2644, 2645, 2646, 2647, 2648, 2649, 2650, 2651, 2652, 2653, 2654, 2655, 2656, 2657, 2658, 2659, 2660, 2661, 2662, 2663, 2664, 2665, 2666, 2667, 2668, 2669, 2670, 2671, 2672, 2673, 2674, 2675, 2676, 2677, 2678,

GNU GPLv2 第3条 <http://www.gnu.org/licenses/gpl-2.0.html>

3. あなたは上記第1条および2条の条件に従い、**許諾条件1** ([1. 改変したソースコード](#))を、**プログラムの** (※改変したプログラムを)をオブジェクトコードまたは実行形式で複製または頒布することができ、 **許諾条件2** (※改変したプログラム)を、

ただし、その場合あなたは以下のうち少なくとも一つを実施しなければならない:

- ※著作権に、プログラムの) に対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを**添付する**。
- ※著作権に、(※) ソースコードを、**提供**する旨述べた少なくとも3年間は有効な書面になった**申し出を送る**。 (※改変) **許諾条件2** (※改変したプログラム)

両者の間でなければ、「書付」は出来ないから、再度両者の「**条件**」→両者の両方の「**書面**」ではない、それでは手廻れ。両者に著作権は

例文は、こんなやりとりでしよう。 英語版メールから

ユーザ: すでにバグが修正されているのに、ソースコードが公開されていないのはどうしてなのでしょう。バグ修正のやりかたをもう少し詳しくバグリが公開すれば、バグリがソースコードを手に入らずにすんだと、現在でこそソースコードが安全です。

このような状況は、GPLに照らし合わせて問題はないのでしょうか？
問題ない場合は、その保証を元にしたものをお教え願います。

メーカ: [社外対応を要しているため公開できません。]
よくよくお読みください。公開はできません。

ユーザ: バグ修正のソースコードが公開されれば、バグリがソースコードを手に入らずにすんだと、現在でこそソースコードが安全です。公開はできません。

この受け答えは、他人の著作権を無視している**自分があるだけ**か……

「今や金で工賃して貰うから、待ててくれよ」と
言い分けたのは、大抵無類に金がかかる、
と人を信用しない人達でして、よくある話。

開示義務などと認識していると著作権侵害をしてしまう不適切な表現

GPLでライセンスされたOSSは、ソースコードの開示が義務付けられている

GNU GPLのOSSは、ソースコードの開示がバイナリ形式での提供との間の、特許ライセンス条件の一つです。

仕事なら、なんでも契約と考えれば良いわけではない

仕事で利用する場合、「**CPAは契約**」と考えないと危険

仕事で、「**CPAは契約**」と考えると著作権侵害を招く。

そもそも、作成者は契約のつもりで作成していない。


作者自身が「GNU GPLは、契約ではない」と述べている

例として、GPLv2当時FSF法務担当で、のちに、GPLv3起訴者の一人である
 コロンビア大学のSteven Moglen氏は2001年、以下の文章を公開

GPLは契約ではないならば、何か？

a licence is a unilateral permission not an obligation,
ライセンスは、一方的な許諾であって、(必ず)強制力ではない

Transcript of Eben Moglen at the 3rd international GPLv3 conference, 22nd June 2007



<https://fido.in/infocenter/GPLv3transcriptmoglen.aspx#.4nHr> での録画。

■ ストリーミング配信及び - YouTube の文字起こし (The Institute of Audiovisual) 転載省略

「僕は、ライセンスに対する原則一般的になつたのなら、
「[ライセンスが]ライセンサーとライセンシーとの契約」ではない、
[ライセンス内容に依して]契約するは、ライセンス契約の成立するだけ、
⇒ 「**ライセンス**」と「**ライセンス契約**」を区別するべき」

[illegible]

GPLでも、ライセンスは、伝播・感染するものではない

●GPLのプログラムを金銭対価を払わずに入手して、GPLが適用されるものが独自開発ソフトウェア、GPLを必要としない。そのうち開発者以外で使わない

しかし、あたかも何の条件も「プログラム」をインストールした動作条件の上で「動作する」が、**金銭対価の受領者への、この条件を満たす条件で受け取らなければならない**

取組困難を考えると、それほど実用でもない。

GPLv2が「**改作物の細則を独断に適用して受け取ってはいけない**」

●あるプログラムを改作して、その改作物を「**改作したCD**」として頒布（販売）する場合は頒布（販売）するCDにその改作プログラムを付するのと同じように、その改作物を付ければならない、という条件は必ず加えるべきにしている。

この改作の条件を「CD」と呼ぶこと

●作業量、他のCDで改作を受ける必要はない、つまり、そのCDがGPLが伝播/感染する条件ではない

●金銭としてその作品とそのそのCDで改作の条件

<p>GPLの“incompatible”とは「両立しない」ということ</p> <p>OS/2とOSSを組み合わせることは可能だが、著作権保護を目的とした場合、著作権ライセンスを「OS/2」で取り扱うことはできません（著作権保護も兼ねる）。</p> <p>プログラムOSS3を単体で（GPLv2の条件で）頒布すると、Apache License 2.0に準拠する必要がある。</p> <p>OS/2の「2.3」条の条件をこの許諾書の条件に追加して「や、（このことは追加の条件となる権利も譲渡してはならない）」に違反し、GPLv2を適用したくない。</p> <p>両立しない（矛盾する）。</p> <p>OS/2に追加可能なライセンス（OS/2で許可される権利）ではない！</p>	<p>これが、作ってからでは後の祭り。</p> <p>OS/2とOSSを組み合わせることは可能だが、著作権保護を目的とした場合、著作権ライセンスを「OS/2」で取り扱うことはできません（著作権保護も兼ねる）。</p> <p>プログラムOSS3を単体で（GPLv2の条件で）頒布すると、Apache License 2.0に準拠する必要がある。</p> <p>OS/2の「2.3」条の条件をこの許諾書の条件に追加して「や、（このことは追加の条件となる権利も譲渡してはならない）」に違反し、GPLv2を適用したくない。</p> <p>両立しない（矛盾する）。</p> <p>OS/2に追加可能なライセンス（OS/2で許可される権利）ではない！</p>	<p>つまり、この問題の答えは</p> <p>Q. GPLv2のOSSとApache License 2.0のOSSを改造して結合したプログラムを開発した場合、無料でソースコードを公開してもパッケージソフトとして販売できない。その理由はどれか。</p> <p>ア. GPLはいかなる条件でも販売を禁止しているため</p> <p>イ. 何をして著作権侵害になるため</p> <p>ウ. ソース開示必須のOSSと必須ではないOSSとは思想的に矛盾するため</p> <p>エ. GPLがApacheとの結合を禁止しているため</p>	<p>知識の習得ではなく、理解しよう</p> <p>OSSライセンスを、知識として習得しようとしてもOSSの専門業者が今年、新たに発信するほど蔓延ったいい加減な表現を習得しては危険でしょう。</p> <p>「著作権」というものを理解して、著作権に関わる記述としてライセンス条文を理解する。そんな、根拠や論理が真つ当な思考を心がけましょう。</p>
<p>著作権に関する教材</p> <p>http://www.bunka.go.jp/senshu/chosakuen/seidokaisetsu/kyozai.html</p> <p>文化庁サイトで「著作権に関する教材」が公開されています。</p>	<p>著作権に関する教材：黒野凌香/福井健康監修 インプレス</p> <p>クリエイターが知っておくべき権利や法律を教わってきました。著作権のことをきちんと知りたい人のための本</p> <p>http://e-non.tameshiyo.me/9784844337973</p> <p>立読み16枚(30ページ)だけでなく、とても良い感じ！</p> <p>■P13 著作権はどうやって使う</p> <p>もちろん、何でもかんでも弁護士や弁護士に相談しなさいとは言いません。正しいのは権利者に任せます。自分で自分の身を守るには、ある程度の知識が必要です</p> <p>■P14 既述</p> <p>「文化の発展に寄与」するのが目的ですから、権利者が少なくなると「公益な利用」の妨げになってしまえば困りますからね</p> <p>「著作権」のコラムで無料で読むこともできます。http://book.nec.com/oss/develop/develop.html</p>	<p>「OSSライセンスと著作権法」セミナー(5H)の構成</p> <p>■順序立てて、キチンとお話ししようとする。5時間ほど指切りしますが是非聞いてほしい</p> <p>第1章 OSSは一般に他人の著作物</p> <p>第2章 著作物の「利用」とは「著作権の行使」</p> <p>第3章 ライセンス違反は著作権侵害</p> <p>第4章 著作権行使の許諾と理解して各OSSライセンスの条文を読む</p> <p>第5章 結合著作物に関する詳細と新たな問題</p> <p>第6章 基本的な対策例</p> <p>精選 GRV3について など</p> <p>精選 2 体別例</p> <p>1500名まで50万円の収益セミナー(基本、会議室)</p> <p>・ 基本5400名(1000名程度)1000人程度のタレントに限定して、ネット上で、ライブ配信も可能。視聴者から724,000円(1000名程度)の収益(1000名程度)。</p> <p>9月1日 東京本社で実施します</p> <p>一人1万円以内の公開(公開)セミナーの開催も可能(収益54)</p>	<p>Orchestrating a brighter world</p> <p>NEC</p>

コンサルティング・サービスのWebサイト

■ OSSライセンス・コンプライアンス コンサルティング・サービス：

<http://jpn.nec.com/oss/oss/c/>

■ IPコンプライアンス・ソリューション：

<http://jpn.nec.com/oss/develop.html>